

ふれあいトーク記録書 （農業委員会と総務・産業建設常任委員会との意見交換会）

開催日時： 令和4年 11月 25日（金） 午後1時30分～ 午後2時45分

場 所： 市役所7階 大会議室

参加人数： 23人（農業委員：14人、議員：9人）

次 第： 1. 開会あいさつ（議長・農業委員会会長あいさつ）

2. 意見交換

テーマ：未来の農業と現状の課題

(1) 野菜の栽培 ・高付加価値ブランド野菜の栽培 ・伝統野菜の栽培 ・農業体験塾受講者募集

(2) 農地保全のための活用 ・貸出市民農園 ・稲づくり体験

(3) 営農型太陽光パネル設置

(4) その他

3. 閉会あいさつ（委員長お礼のあいさつ）

項目	参加者の意見・質問	議会の応答
1, 野菜の栽培 ・高付加価値ブランド野菜の栽培 ちっちゃい菜など	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や保育園ではある程度の広さの花壇か農地があれば栽培できるし、東小学校で育てた経験がある。教育の一環でできるよう支援して頂きたい。ポット苗から定植する活動を行っている。希望としては10坪ほどの土のある環境がよい。 ・補助金3万円は、種代くらい。種を育てるための土がいる。 ・ちっちゃい菜は、「作る・食べる・売る」それぞれに 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の作文でちっちゃい菜をもっと皆さんに知ってほしいとの意見があった。 ・ちっちゃい菜を学校で個人のプランター栽培はできるのか。 ・ブランド野菜補助金は平成28年からついているが足りているのか。 ・ふれ愛まつりでは、2束100円で売って

<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統野菜の栽培 ・ 農業体験塾受講者募集 	<p>問題があるかもしれない。広がっていかない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブランド化するなら助成金等支援して頂くしかない。 ・ 固いじくや葉などを漬物にするなど工夫をしている。 ・ 黄色やピンク色のカリフラワーは種代が高い。売値は白より安い。できるまでに時間がかかる。カリフラワー栽培者は12人となっているが実際は3人ほどである。ブランド化は難しいのではないかと。 ・ 学校給食で地産地消のメニューでちっちゃい菜を提供している。栽培に時間がかかるので、半年前までには連絡がほしい。 ・ 産直センターへの買い物客は午後2時までが多い。それ以後の開店は、人件費と売上高との関係で難しい。 ・ 店に常時だすような出荷は難しい。 ・ 岩倉市PRのテレビ等で紹介されたこともある。 ・ 伝統野菜「おちうり」の紹介。弱点はくさりやすい。 <p>・ 川井町では実際に多くの農業体験希望者が集まっている。農業の専門家が指導者で、指導を受けている。畑は整備されている。</p>	<p>いた。安すぎるのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 黄色やピンク色のカリフラワー、ロマネスコ等のブランド野菜化はどうか。 ・ 学校給食の地産地消メニューは楽しみにしている。 ・ 産直センターの閉店時刻が早く、購入できない客がいる。もっと延ばせないのか。 ・ 小売り店で並べることができないか。 ・ 「おちうり」の甘い香りを体験する。 ・ 農業体験塾受講者募集では多くの受講希望者本年末47名がいると聞いている。退職後等に農業に興味をもっている人が多い。
<p>2, 農地保全のための活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貸出市民農園 ・ 稲づくり体験活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「貸出市民農園」や「稲づくり体験活動」用の農地はわずかで、農地保全のための活用のほんの一部である。 ・ 田植え体験参加者は50名ほど。子どもたちは泥の田 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「貸出市民農園」は、市内に5か所設置し、4か所は空き区画がない状況。借りたい人は多い。 ・ 東町で行われている「稲づくり活動体験」

	<p>に入り、どろんこ遊びやカエル遊びに夢中になるなど楽しんでいました。子どもに稲づくりや田に興味をもっといただく目標は達成できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライスセンターで玄米ができることも見て頂いた。 ・稲刈り体験時に、ある母親が落ちている穂を集めていた。皆で「落穂ひろい」ができたことが思い出に残っている。 	<p>に参加希望者は多い。申し込み家庭が多い。コロナ禍での体を動かす体験活動が少なかったことも希望者が多くなった原因かもしれない。</p>
3, 営農型太陽光パネル設置	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県では強風でパネルが飛ぶとか、その後、産業廃棄物としての処理等問題が多い。売電価格が下がっている。設備投資・環境問題等があり難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネル設置については、農地転用して設置するのではなく、農業を併用して行うことができるのでよいのではないか。

4, その他

- ・岩倉市の農地の特徴として、一つ一つが小さな田として土地改良をしたという歴史がある。
農地の集約化は、小さな田ごとに段差があり、平地にするのは難しい。
- ・道路事情がよい場所は企業誘致に適している。企業誘致されない土地を農地として維持していきたい。それには、支援が必要。
- ・2023年肥料代が高騰する。5ha以下の農地（日本の98%）は赤字経営になるという。農業が必要というなら、国県など支援が必要。
- ・野寄川井、八剣地区等企业誘致で優良農地が減り、農業は厳しい。農地の集約化するのにもお金がかかる。家庭菜園レベル等管理して頂くなど、岩倉に合ったきめ細やかな政策をしてほしい。